

News Release

MAFF

Ministry of Agriculture,
Forestry and Fisheries

農林水産省



経済産業省

北海道経済産業局

Do★食輸出Platformの取組

～輸出産地に寄り添った支援を強化し、地域の持続的発展に貢献します～

2022年7月21日

農林水産省 北海道農政事務所
経済産業省 北海道経済産業局

Do★食輸出
Platform

～本資料のお問い合わせ先～

農林水産省 北海道農政事務所

生産経営産業部 事業支援課（担当：武藤・浦本）

電話：011-330-8810 E-mail：do.yusyutsu@maff.go.jp

経済産業省 北海道経済産業局

地域経済部 食・観光産業課（担当：直江・佐藤）

電話：011-709-2311（内線2593）

1. 政府の動き ～輸出拡大実行戦略の改訂～

- 政府の輸出額目標である2025年に2兆円、2030年に5兆円を達成するため、「**農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略**」を2020年11月に「農林水産物・食品の輸出拡大のための輸入国規制への対応等に関する関係閣僚会議」においてとりまとめ、2021年12月及び2022年5月に同会議で改訂しました。

戦略の趣旨

- 2025年2兆円・2030年5兆円目標の達成は、海外市場で求められるスペック（量・価格・品質・規格）の産品を専門的・継続的に生産・販売する（＝「マーケットイン」）体制整備が不可欠

改訂の概要

- 輸出促進法等の一部改正法の成立（2022年5月19日）等を踏まえ、2022年度に実施する施策、2023年度以降の実施に向け検討する施策について、その方向性を決定

3つの基本的な考え方と具体的施策

1. 日本の強みを最大限に発揮するための取組

- ①輸出重点品目(28品目)と輸出目標の設定
- ②輸出重点品目に係るターゲット国・地域、輸出目標、手段の明確化
- ③品目団体の組織化とその取組の強化
- ④輸出先国・地域における専門的・継続的な支援体制の強化
- ⑤JETRO・JFOODOと認定農林水産物・食品輸出促進団体等の連携
- ⑥日本食・食文化の情報発信

2. マーケットインの発想で輸出にチャレンジする事業者の支援

- ⑦リスクを取って輸出に取り組む事業者への投資の支援
- ⑧マーケットインの発想に基づく輸出産地・事業者の育成・展開
- ⑨大口ロット・高品質・効率的な輸出等に対応可能な輸出物流の構築
- ⑩輸出を後押しする農林水産事業者・食品事業者の海外展開の支援

3. 政府一体となった輸出の障害の克服

- ⑪輸出先国・地域における輸入規制の撤廃
- ⑫輸出加速を支える政府一体としての体制整備
- ⑬輸出先国・地域の規制やニーズに対応した加工食品等への支援
- ⑭日本の強みを守るための知的財産対策強化

4. 国の組織体制の強化

2. 北海道の“食”輸出産地の競争力強化

- 食の一大産地である北海道における食輸出拡大は、「新市場開拓」や「地域経済基盤の底上げ」に直結し、「地域の持続的発展」につながります。
- このため昨年9月、国の行政機関が連携し「Do★食輸出Platform」を立ち上げ、**「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」の推進**を目指し、産地の課題解決や地域の持続的発展に貢献する取組をスタートしました。

1. これまでの取組

- 北海道農政事務所・北海道経済産業局・札幌国税局・JETRO北海道・中小機構北海道本部の5機関が力を結集し、輸出産地の生産者や食品加工業者等を支援する**「北海道“食”輸出産地支援プラットフォーム」(Do★食輸出Platform)を設置**。(2021年9月)
- Do★食輸出Platform構成機関が、ホタテ貝やたまねぎ・ながいも、清酒といった輸出重点品目を中心に**40者超の生産者・食品加工業者等を訪問**。
- **産地のニーズを把握**するとともに、鮮度保持技術やホタテ貝自動生剥き機の導入等の**生産性向上投資**や、デジタルツールを活用した**販路開拓等の支援**について**オンラインセミナー**も活用し**産地へ紹介**。
- ものづくり補助金やHACCPハード事業等を活用し、**産地事業者の設備導入やスマート化、海外販路開拓等を支援**。<参考1：道内輸出取組事例>



2. 今後の取組

- 今後も海外の多様なニーズに対応するため、**北海道内各地でのキャラバンの実施や輸出エキスパート人材の活用、大手企業・金融機関等とも連携**し、労働力不足・生産性向上等の**産地の課題解決**や**輸出に向けた支援**を一層強化・加速します。

3. Do★食輸出Platformの取組を強化・加速

- 今後は、①プレーヤー等の新規発掘と産地ニーズの掘り起こし ②北海道内各地でのキャラバンの実施と支援施策の周知・活用促進 ③輸出エキスパート人材の活用や大手企業・金融機関等との連携を軸に、生産性向上と輸出支援の取組を強化・加速します。

支援先の拡大！

- 北海道産の農林水産物・食品の輸出に取り組む企業・生産者等のフォローアップと併せて、Do★食輸出Platform構成機関を中心に、輸出重点品目等に関連する北海道内産地の新たなプレーヤーの発掘と産地ニーズの掘り起こしを実施。

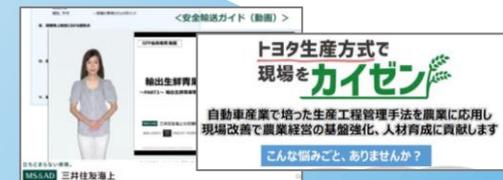


キャラバンの実施！

- 北海道等の関係機関と連携し、6地域（札幌・旭川・函館・帯広・釧路・北見）において、輸出や生産性向上に役立つ支援策の活用を提案する輸出促進キャラバンを今年度内に3回実施。（①夏期 ②秋期 ③冬期）
- 輸出や生産性向上に意欲がある生産者・食品加工事業者等に対し、Do★食輸出Platform構成機関の支援施策の周知と活用促進を図り、産地の輸出サポートを実施。

輸出エキスパート支援！ & 大手企業・金融機関連携！

- 海外とのネットワークを有する輸出エキスパート人材や大手企業・金融機関等と連携して輸出産地にアプローチし、輸出事業計画の作成支援や産地のニーズに寄り添ったサポートを実施。
- 輸出や生産性向上支援に取り組み、国内外に拠点を持つ流通・金融・保険・商社・ものづくり等の大手企業や金融機関等と連携。輸出に役立つソリューションや活用事例を産地へ周知。 <参考2：民間企業・金融機関等による産地支援の取組事例>



「Do★食輸出オンラインセミナー」資料より

4. 北海道内各地での輸出促進キャラバンの実施

- 7月開催の**第1弾「輸出促進キャラバン」**を皮切りに、**第2弾**を8月以降（北海道等の関係機関と連携）、**第3弾**を2023年初頭に実施予定です。札幌・旭川・北見・函館・釧路・帯広の北海道農政事務所地方拠点を中心に、金融機関等と連携して実施します。

◎ 牛肉

- 牛肉
- ホクレン食肉輸出コンソーシアム（北海道全域）

◎ 豚肉

- 豚肉
- 北海道産豚肉輸出拡大コンソーシアム（新冠町）

◎ 鶏肉

- 鶏肉
- 日本ホワイトファーム(株)札幌コンソーシアム（厚真町）

◎ 牛乳乳製品

- LL牛乳等・チルド牛乳
- チーズ
- よつ葉乳業(株)（旭川市、音更町）
- 雪印メグミルク(株)（旭川市、中標津町、大樹町）
- 北海道乳業(株)（函館市）
- LL牛乳等・チルド牛乳
- 北海道日高乳業(株)（日高町）
- (株)北海道酪農公社（江別町）
- ホクレン農業協同組合連合会（旭川市）

◎ 味噌

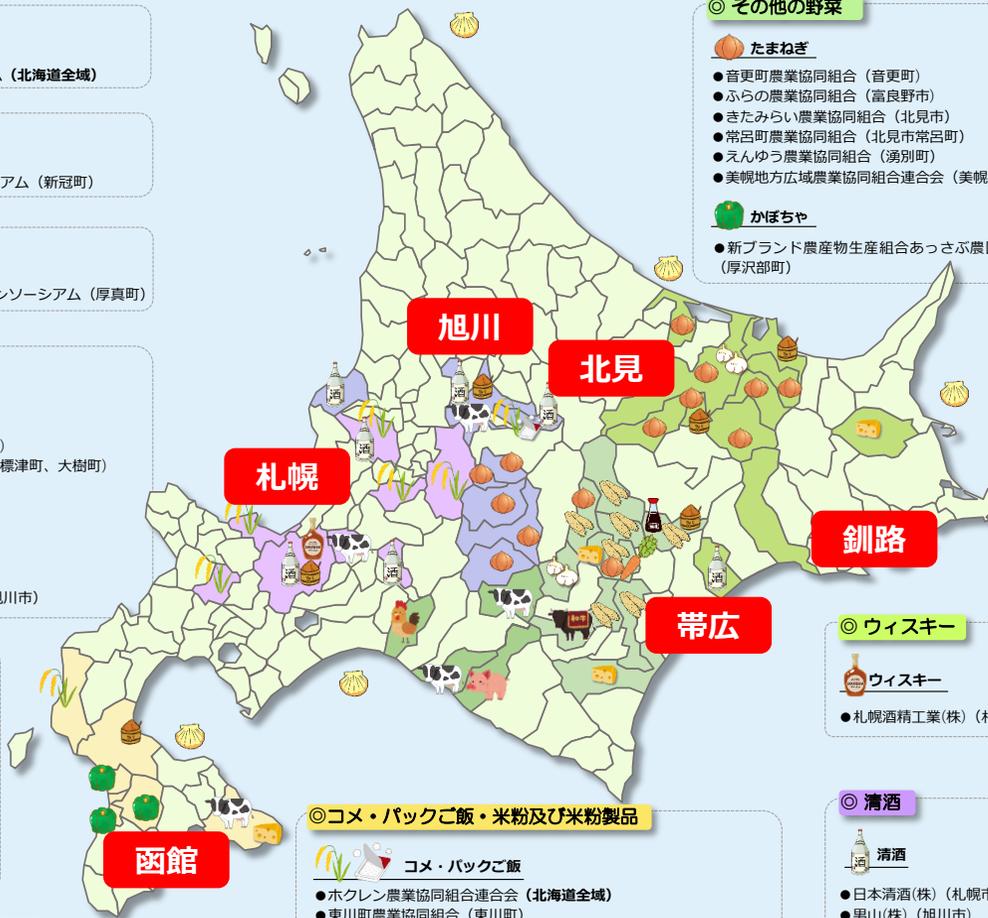
- 北海道味噌
- 全国味噌工業協同組合連合会北海道組合（札幌市）
- 福山醸造(株)（札幌市）
- 岩田醸造(株)（札幌市）
- 渋谷醸造(株)（本別町）
- 倉繁醸造(株)（網走市）
- 服部醸造(株)（八雲町）
- 太田醸造(有)（訓子府町）
- 北海道味噌(株)（旭川市）

◎ 醤油

- 醤油
- 北海道味噌醤油工業協同組合（札幌市）
- 福山醸造(株)（札幌市）
- 北海道醤油(株)（札幌市）
- 渋谷醸造(株)（中川郡）

◎ その他の野菜

- たまねぎ
- 音更町農業協同組合（音更町）
- ぶらの農業協同組合（富良野市）
- きたみらい農業協同組合（北見市）
- 常呂町農業協同組合（北見市常呂町）
- えんゆう農業協同組合（湧別町）
- 美幌地方広域農業協同組合連合会（美幌町）
- ながいも
- 帯広大正農業協同組合（帯広市）
- 帯広市川西農業協同組合（帯広市）
- 音更町農業協同組合（音更町）
- にんじん
- 音更町農業協同組合（音更町）
- かぼちゃ
- 新ブランド農産物生産組合あさぶ農匠（厚沢部町）
- にんにく
- 十勝清水町農業協同組合（清水町）
- 常呂町農業協同組合（北見市常呂町）



輸出促進キャラバン・旭川会場の様子
(7月14日/於：旭川地方合同庁舎)



◎ ホタテ貝

- ホタテ貝（北海道全域）
- 北海道漁業協同組合連合会
- カネコ木村水産(株)
- (株)カネキチ澤田水産
- (有)カネヤマ松浦水産
- (有)丸二永光水産
- 巽冷凍食品(株)
- 稚内東部(株)
- カクイチ昌森水産(株)
- 広瀬水産(株)
- (株)寺本商店
- (株)丸木堀切商店
- (株)マルキチ
- 北見食品工業(株)
- 同和食品(株)
- (株)カネコマ田中水産
- マルゼン食品(株)
- (株)北海永徳
- (株)マ印神内商店
- (株)丸イ佐藤海産

◎ ウイスキー

- ウイスキー
- 札幌酒精工業(株)（札幌市）

◎ 清酒

- 清酒
- 日本清酒(株)（札幌市）
- 男山(株)（旭川市）
- 高砂酒造(株)（旭川市）
- 福司酒造(株)（釧路市）
- 小林酒造(株)（栗山町）
- 金滴酒造(株)（新十津川町）
- 三千櫻酒造(株)（東川町）
- 国稀酒造(株)（増毛町）

◎ コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品

- コメ・パックご飯
- コメ
- ホクレン農業協同組合連合会（北海道全域）
- 東川町農業協同組合（東川町）
- (株)芦別RICE（芦別市）
- 新緑津農業協同組合（新緑津村）
- 北海道産米輸出促進協議会（小樽市、美瑛町、倶知安町、せたな町）
- (株)松原米穀契約生産者組合（北海道全域）

第1弾(夏)
輸出促進法
改正



第2弾(秋)
関係機関
と連携



第3弾(冬)
来年度
予算等PR

北海道農政事務所
地方拠点所在地



※事業者名、地域名は「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略に基づき輸出重点品目の輸出産地リスト」に基づき記載しております

5. 輸出エキスパート人材の活用

- 輸出の支援は、目先の課題解決への支援だけでは実現困難です。2022年度から、北海道農政事務所に「**輸出産地サポーター**」、JETRO/JFOODOに「**フィールドマーケター（北海道地域担当）**」が新たに就任。北海道在住の**輸出エキスパート人材**として産地を支援し、輸出を後押しします。

北海道農政事務所・輸出産地サポーター

- 地方農政局等に民間の専門人材を「輸出産地サポーター」として採用。北海道農政事務所にも「輸出産地サポーター」1名を今年度新規に採用。
- 輸出産地の育成や、輸出産地・事業者の輸出事業計画の策定・実施を伴走型で支援。

北海道内輸出産地の支援



JETRO/JFOODO・フィールドマーケター

- JFOODOではJETROと連携して「日本産が欲しい」という現地の需要・市場を作り出すため、品目毎に対象市場を設定し、海外消費者向けプロモーションを実施。
- 北海道ブロックにフィールドマーケター1名を配置し、海外市場情報を提供し、JETROと連携して商流構築の実現に協力。さらに商流を持たない事業者への海外市場動機付け等を実施。

北海道内輸出産地のプロモーション



DUAL
Support

連携・協働

産地支援企業
など

Do★食輸出Platform
／関係機関

水産物



網走市 北見食品工業（株） 『冷凍ホタテ貝柱、鮭ドレスを世界へ』

【主な品目】

冷凍ホタテ貝柱、鮭ドレス

【主な輸出先国・地域】

中国、台湾、香港、アメリカ、
オーストラリア、EU

2021年4月に施設・設備の改修が終了し、EU基準で求められる衛生管理ができる工場になったことで、さらに高いレベルでの商品の製造が可能に。



ホタテを剥く作業風景

【活用した支援・施策】

農水産業省 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業

青果物



滝川市 滝川地方卸売市場株式会社 『青果物を香港、ロシア、アメリカへ』

【主な品目】

メロン、かぼちゃ、長いも、とうもろこし等

【主な輸出先国・地域】

香港、ロシア、アメリカ等

富良野産のメロンを主体に、道内産の青果物を香港・ロシア(サハリン)・アメリカ等へ輸出。とうもろこし・長いも・かぼちゃに力を入れ、輸出額の倍増を図る。



適切な保管と温度管理

【活用した支援・施策】

経済産業省 農商工連携等によるグローバルバリューチェーン構築事業
／その他 経済産業省 事業再構築補助金 採択

水産物



紋別市 広瀬水産（株） 『冷凍ホタテ・玉冷を中国、台湾、アメリカへ』

【主な品目】

冷凍ホタテ、冷凍ホタテ貝柱

【主な輸出先国・地域】

中国、タイ、アメリカ

ホタテ貝柱の需要は海外からの引き合いが強いため、HACCPを取得。X線選別機にて異物混入対策、自動包装ラインにて衛生的な製品づくりを行い新規市場開拓を積極的に実施。



製品写真

【活用した支援・施策】

農水産業省 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業
／その他 経済産業省 事業再構築補助金 採択

青果物



厚沢部町 農産物生産組合あっさぶ農匠 『規格外品のかぼちゃをシンガポール等へ』

【主な品目】

かぼちゃ

【主な輸出先国・地域】

シンガポール、マレーシア、香港、マカオ

国内では需要が少ない規格外品の小玉が海外では需要が高いことに着目。GLOBAL.GAPの認証を取得し、低農薬化等の作物の品質管理を向上。(2019年より輸出開始)



長期保管実証実験

【活用した支援・施策】

農林水産省 GFPグローバル産地づくり推進事業

<参考1> 道内輸出取組事例②

★印：JETRO各種支援事業活用事例

加工食品



札幌市 西山製麺(株) 『生ラーメン、たれをアジア圏へ』

【主な品目】

冷凍生ラーメン、ラーメンたれ

【主な輸出先国・地域】

アジア、北米、EU、中東

現在、33か国・地域の130店舗に輸出・提供し、日本食、ラーメン文化の普及を实践。中継拠点として、ドイツ、アメリカ、シンガポールにグループ会社を設立。



西山ラーメンを使用した
ワシントンDCのラーメン店

【活用した支援・施策】

農林水産省 国際的認証資格取得等支援事業
／その他 経済産業省 ものづくり補助金 採択

畜産物



札幌市 北海道チクレン農業協同組合連合会 『赤身牛肉キタウシリ(ホルスタイン種)をタイ、ベトナムへ』

【主な品目】

赤身牛肉キタウシリ(ホルスタイン種)

【主な輸出先国・地域】

タイ、ベトナム

タイやベトナムでは、牛肉の消費が拡大している上に、赤身牛肉が流通の主流。「北海道産」の良質なブランド赤身牛肉「キタウシリ」を商品メニューやカット方法と合わせてプロモーション。高タンパク・低脂質・低カロリーなどの点で和牛と差別化。



キタウシリのサーロイン

【活用した支援・施策】

農林水産省 GFPグローバル産地づくり推進事業

アルコール飲料



増毛町 国稀酒造(株) 『最北の酒蔵から世界15か国へ』

【主な品目】

日本酒

【主な輸出先国・地域】

台湾、アメリカ、香港、ベトナム、中国等

2005年にバイヤーを通じて輸出を開始。台湾の和食レストランへ直接輸出を行うなど、世界15か国・地域へ輸出。現地での日本酒への理解不足を解消するため、足を運びこつこつと日本酒の魅力を伝えていく。



スペインイビサ島での試飲会

【活用した支援・施策】

全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会の事業
／その他 経済産業省 JAPANブランド支援事業 事業再構築補助金 採択

その他



函館市 一般財団法人北海道食品開発流通地興 『北海道産品の新たな販路の開拓』

【主な品目】

農産物、水産物、酪畜産物、
スイーツ、アイスクリーム等の加工品

【主な輸出先国・地域】

香港、中国、シンガポール、マレーシア

香港の各大手スーパーへ北海道産の牛肉・豚肉の畜産物や加工品を販売。中国への菓子・食品・酒等をコンテナで定期的に輸出。越境EC・リアルショップ等で販売。輸出に関して、これまでのネットワークやノウハウを活かし中小企業を総合的に支援。



中国での商談会

【活用した支援・施策】

農林水産省 農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業のうちフードバリューチェーン・トータル実証事業／その他 経済産業省 共同・協業販路開拓支援補助金 採択

<参考2> 民間企業・金融機関等による産地支援の取組事例

※五十音順



株式会社エイチ・アイ・エス

- HISが持つ海外拠点網にて、最新の情報をいち早く収集し、企業の海外進出に関する各業務をワンストップで対応する海外進出支援サービス「レンタルHIS」を展開。
- 事前の現地調査やテストマーケティングから海外進出支援、進出後の赴任者サポートまで幅広く提供。

海外ビジネスをもっと楽にもっと身近に

レンタルHIS

TOYOTA

トヨタ自動車株式会社
(トヨタ自動車北海道株式会社)

- 自動車産業で培った生産工程管理手法を農業に応用し現場改善で農業経営の基盤強化、人材育成に貢献。
- トヨタグループで連携し、生産者向けの現場改善や農業関係団体向け研修を通じてトヨタの改善スタッフが現地現物でサポート。



株式会社日本貿易保険 (NEXI)

- 農林水産省の支援する農林水産品・食品輸出者に対し「簡易通知型包括保険」について、保険加入の要件を緩和。
- 地方農政局や民間保険会社と連携し、NEXIの保険商品を含めて農林水産品・食品輸出に係るリスクや対処法について紹介。



立ちどまらない保険。
三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

三井住友海上火災保険株式会社

- 農林水産物・食品の輸出事業者向けに、通常の外航貨物海上保険で対象とならない腐敗・品質劣化損害や温度変化損害を補償する「輸出専用保険」を提供。
※保険内容の詳細は、パンフレット、約款をご確認ください。
- GFP会員向けに生鮮青果物の国際海上輸送で注意すべきリスクをまとめた動画を配信中。



B22-100357 承認年月2022年7月

- ✓ **「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」**目標達成に向け、輸出重点品目を中心に海外市場で求められる製品のスペック（量・価格・品質・規格等）を**マーケット・イン**に着眼して継続的に生産・販売する**「産地の競争力強化」**を支援。
- ✓ 北海道農政事務所・北海道経済産業局・札幌国税局・JETRO北海道（JFOODO）・中小機構北海道本部の5機関を中心とした**「北海道“食”輸出産地支援プラットフォーム」**（**Do★食輸出Platform**）を新たに発足。
- ✓ 5機関の施策（別紙）をフル活用し、産地の高度化による輸出基盤強化や輸出アドバイス・プロモーション等を通じた支援により、輸出促進法に基づく**事業者による「輸出事業計画」の作成やその実現をサポート**。

農政事務所・経産局・
国税局・JETRO・中小
機構が連携し、道内の
輸出産地支援に向け
た取組を実施

北海道・道内市町村・
関係機関等との連携



JFOODO

北海道農政事務所

北海道“食”輸出
産地支援プラットフォーム

Do★食輸出
Platform

札幌国税局

Be a Great Small.
中小機構

経済産業省
北海道経済産業局

1. 地域連携による産地ニーズ掘りおこし

☆地域拠点との連携

- ☞ 北海道農政事務所の道内6拠点（札幌・函館・旭川・釧路・帯広・北見）や関係機関とも連携し産地ニーズを把握。
- ☞ 「輸出事業計画」作成アドバイスを実施。



☆競争力の高い道産ホタテ等を事例とした輸出促進を先行検討

2. 産地への施策普及・協業マッチング等の開催

☆産地まわりやイベントの開催

- ☞ 各機関の支援メニュー、先進事例を産地に共有・紹介するセミナー等を実施。
- ☞ IoTやDX、農・水産支援ロボットなどの関連中小企業等と産地高度化に資するマッチング（キャラバン）等を検討。



3. 各機関の施策投入による支援

☆産地の高度化による輸出基盤強化

- ☞ 食関連事業者のスマート化・DX化の推進、協業、設備投資促進等による輸出基盤強化を支援。
- ☆輸出アドバイス・プロモーションを支援
- ☞ 産地事業者の販路開拓、海外展開、ブランディング等を支援。

